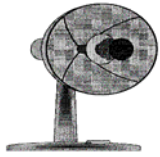


# 悪質商法から高齢者を守る なごや見守り情報 第9号



冬場の電気暖房器具は取扱いを誤ると、発火し、火災が発生するおそれがあります。



一昨年購入したハロゲンヒーターに電源を入れたところ、少し暖まったと思ったら、「ポン」と音がして、部品が飛んで火が出た。すぐに気付いたので、火事にはならなかったが、怖かった。後でリコール製品とわかった。



高齢の両親が使っていた電気カーペットが発火した。コンセントから火花が出て、プラグが燃え、畳がこげた。接触不良があり、スイッチの「入・切」が不具合だったとわかった。電源コードが折れ曲がり、断線したことが原因だったようだ。



電気こたつの温度調節を「中」にしても、「強」の温度から下らず、掛けぶとんの中心部分が焦げた。こたつの中に掛けぶとんを巻き込んだり、洗濯物をこたつの中に入れて乾かそうとしたのが原因だったようだ。

## アドバイス

- 近くに燃えやすい物を置かないようにしましょう。その場を離れたり、就寝するときには、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きましょう。
- 電源コードの上に重いものを置いたり、丸めたりしないようにしましょう。
- 使用中に電源コードやプラグが異常に熱い、または焦げくさい臭いがするなどの症状が見られたら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きましょう。
- 暖房器具のリコールなどが新聞に頻繁に出されています。該当製品でないかチェックしましょう。

困ったときには、すぐに消費生活センターに相談してください！

わからなくて  
はセンターに  
聞いてね。

名古屋市消費生活センター  
名古屋市中区栄一丁目23番13号 伏見ライフプラザ11階  
平日 TEL052-222-9671  
土・日 TEL052-222-9690 ・祝日年末年始を除く  
相談受付時間 午前9時から午後4時15分  
(土・日は電話相談のみ)